



生涯学習だより

安中市少年少女合唱団 第21回定期演奏会

安中市少年少女合唱団では、定期演奏会を次のとおり開催します。この1年一生懸命に練習してきた成果を精一杯歌います。多数の方のご来場をお待ちしています。

日時▶3月13日(日) 午後1時30分開場 午後2時開演

会場▶安中市文化センター ホール

入場料▶200円(安中市文化センター・松井田文化会館で入場整理券を扱っています)
※未就学児は無料です。

問合せ▶安中市少年少女合唱団事務局(☎生涯学習課)
(☎内線2242)

プログラム

- 第1部 「花のまわりで」
「光の中へさあ君と」 他
- 第2部 「うたえ手のひら」「へのへのもへじ」 他
- 第3部 「深い河」(黒人霊歌)
「手紙」(アンジェラ・アキ) 他
- 第4部 賛助出演 新島学園聖歌隊ハンドベル演奏
- 第5部 ハンドベルとの共演
童声合唱のためのバラード「星の旋律」



人権作品集「おもいやり」完成

安中市内各小中学校の児童生徒の代表による人権作文・標語・ポスターの作品を収めた作品集「おもいやり」の平成27年度版が完成しました。

各学校での人権教育の成果により、子どもの持つ鋭い感性と人権感覚豊かな優れた代表作品集となっています。作品集をご覧いただき、子どもたちのみずみずしい感覚をもとに、改めて人権について考えていただければ幸いです。「おもいやり」は市内小中学生をお持ちの全家庭に配付するとともに、公民館・生涯学習センターなどで無料で配布しております。

問合せ▶☎生涯学習課生涯学習係(☎内線2244)



◀完成した冊子

平成26年度人権作品集「おもいやり」から
人権問題
安中市立第二中学校
2年 原田 隼汰

人権とは、「人である自分たちの持つ、思いやりのある心」また、「尊重し合うこと」なのではないかと僕は思います。

僕は、中学生になって、消しゴムで消したあとに出るゴミを投げてしまったり、陰でこそ話を話してしまったり、ささいなことから軽い気持ちで始めてしまったいじめは、止むどころか、エスカレートしていつてしまい、ロッカーにゴミを入れてしまったりと、たった一回でもかなり重いいじめをしてしまいました。相手の気持ちを考えずにやっていくにつれて、相手の心はどんどん痛みを増すばかりだったと思います。僕は、それでも、まだ相手の心のことを考えられずにいたせいで、いじめを続けてしまいました。そして、その数日後に、僕は相手の涙を見ることになってしまいました。その涙の一粒一粒が、自分がおかしてしまったことの大きさを物語っていました。そんな中、僕はいじめをしてしまったことを後悔しました。そして、相手に治ることをのらない心の傷を負わせてしまったことに対しての反省をし、「また、仲良くできるかな。」と思い続けました。その後は、相手も許してくれたため、また以前のように、一緒に帰ったり、遊んだり、話したりと仲良くなることができました。

問合せ▶☎生涯学習課生涯学習係

(☎内線2244)

(つづく)